

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1072000373		
法人名	医療法人 橘会		
事業所名	認知症高齢者グループホーム たちばなの家		
所在地	群馬県渋川市北橋町上南室 108-3		
自己評価作成日	平成26年	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	平成26年11月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、一人ひとりの意思を尊重し笑顔溢れるホーム作りを心掛けています。リハビリが必要になった時や 状態が悪くなった時は、併設の老健又は、病院での24時間対応で、安心して暮らせるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山の中腹に立地する事業所は、母体法人の病院・老人保険施設が近隣にあり50床の認知症病棟を有し、重度化した場合は速やかに利用が可能である。法人の病院の内科医がかりつけ医となり、2週毎の往診及び病院の看護師との連携により、健康管理がされている。心身の重度化や看取りについては契約時に説明し、法人の方針があり、急変時には入院となり、終末期は病院や老人保健施設に移られて看取りの介護・看護が為されている。心身の状況の変化には、細やかに24時間の医療対応が為されている。また、災害時には病院や老人保健施設の協力体制が整っており、事業所の日々の安心・安全な生活が確保されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	市町村主催の行事(敬老会)に参加させてもらってます。	職員は申し送り時や新入居者を迎える時期等に、理念に基づいて介護することを確認している。日々介護する中で職員の対応に気づきがあり、理念の振り返りが行われている。	管理者・職員は理念の意味について再確認をする為の話し合いと、理念についての勉強会開催等を検討することを期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に立ち寄るまでには、至っていません。	回覧版により地域行事の情報を得るとともに、事業所の行事案内も回覧しているが、地域の参加には至っていない。北橋地区の敬老会に参加するが、主には法人内の他事業所にゴミだし等で立ち寄ることなどが中心となっている。ボランティアの訪問を通じての地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において、地域の方々に呼びかけてはおりますが、現実には至っていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で出た意見を基に改善や向上に努めています。	2ヶ月毎に運営推進会議は開催され、利用状況・行事運営・外部評価結果を話し合い、質問や意見交換が行われている。夏に庭の草が目立つ事の注意や、歌や演奏のボランティアの紹介などが提案され、運営に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村が主催する研修等には、積極的に参加しています。	介護保険の更新書類は、支所宛に郵送している。市主催の研修会案内等が郵送され、電話で空き状況の問い合わせがくる事もある。今後は、事業所から書類などを持参し、出向く方向が良いか検討している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、身体拘束者はいません。徘徊者が、いる事から安全面を考え玄関は、施錠をしているのが現状です。	身体拘束をしなければ安全が図れない状態の方はおらず、拘束はしていない。帰宅願望のある方がおり、言葉かけを工夫し、散歩や外気浴等により気分転換を図っている。落ち着いている時、見守りが可能時は、玄関の開錠もしている。	身体拘束について共通理解を図る為の話し合いや、勉強会を持つ事を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミニカンファレンスを随時行い 優しい言葉遣いと態度で接する様呼びかけ、未然に防いでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議等で説明をさせて頂き、地域の方々と連携を取り必要な時は、活用の旨を伝えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書の読み合わせを行ない、漏れの無いよう各項目毎に確認をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置していますが、なかなか利用されていません。直接職員にお話を去れる方はいます。	意見箱の設置をしている。毎月利用料の支払いに見える家族に、職員は声をかけ意見聴取の働きかけを行っている。管理者は、申し送り時等に家族からの意見の報告を聞いて対応している。	事業所サイドから運営に関する家族からの意見が出しやすい働きかけを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や報告等、自由に意見が述べられるようになっております。ホームが良い方向に進むよう努めています。	毎月の職員会議・カンファレンス等において、提案やケア方法が話し合われている。法人の病院事務長は必要時職員と個人面談を実施し、本人の力が発揮でき、ローテーションを含めて働きやすい職場環境に配慮している。	事業所の職員全員へ定期的に個人面談等を行うなど、個別の意見の聴取が出来る機会作りを期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内で、適材適所に配属されるよう人事異動を行い、やりがいがあるよう環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	当該職員の段階に応じた研修に参加しています。法人内でも勉強会を開いています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	群馬県地域密着型サービス連絡協議会による研修会等に参加し交流に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の見学、面談をさせて頂き、希望に合わせた介護を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前、ご希望やお困り事を聞き入れ傾聴をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同じ法人内に様々な施設があります。必要に応じてご紹介させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯たたみ、清拭たたみ等、軽作業をされ助け合いながら過ごしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時などは、在宅や今までの習慣、性格等を聞き利用者の現状に合わせコミュニケーションを図り支えられるようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染みの人に手紙を出したり希望時には、電話を掛けています。	入居者は渋川市近辺の方が殆どであり、家族・親戚・友人の訪問がある。家族に電話をしたい方には支援するとともに、家族の協力により、かかりつけの美容院や自宅に外出・外泊をする方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席替えにより性格の合う人同士を同じテーブルに腰掛けて頂いております。レクでは、皆さんで出来るものをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な助言、話し合いは行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の気持ちになり思いやりをもって、出来る限り希望に添うよう答えを出していくよう努めています。	本人の表情や申し送り等により本人の思いや希望を推察している。口数が少なく自己表現をされない方には、声をかける機会を多くして思いの把握に努めている。職員は本人の思いを共有するようあらゆる機会を捉えて、話し合いを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族からの情報、入居前の施設からの申し送りにより、情報を収集をしています。日々のコミュニケーションでアセスメントし把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のADLの状態を観察、情報の共有を行い対応の方法が、統一出来るよう話し合っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月毎にモニタリングを行いカンファレンスや家族からの意向も含め計画を作成しています。	ケアマネージャーは、アセスメント表や家族の意向等により、長期・短期目標を設定している。毎月担当者会議、申し送り等で話し合い、その情報より3ヶ月毎のモニタリングを行い、6ヶ月毎に介護計画の見直しを行っている。家族には説明し、了承を得ている。	家族からの意見やモニタリングの内容が介護計画に反映されるよう、多面的な記載内容等の検討を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや介護上での工夫を職員間で話し合い、具体的に利用者の現状が把握できるよう個人記録を実施しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同じ法人内の病院との医療連携体制・居宅介護支援事業所による協力は得られています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事参加や定期の運営推進会議で地元自治会長・民生委員の方と協力し合える関係を築いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居契約時に往診を受けている同じ法人内の医師に主治医になって頂いております。	入居時に、家族の希望に沿って病院の内科医がかかりつけ医となり、2週間毎に往診している。他科や他病院に受診時は、家族の都合によっては職員が同伴している。また、必要時には病院の看護師に健康相談し、併設の老人保健施設・病院での24時間医療対応が可能であり、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居の状態に合わせ、必要ある場合は主治医の指示を仰ぎ訪問看護等の活用も実施しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	併設病院との交流会は、年に数回行っています。また、主治医は併設病院と兼務で診て頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、訪問看護師、職員、家族の意向も含めて、ご本人の終末期を支援出来るよう取り組んでいます。	重症化や終末期のあり方について法人の方針があり、急変時は入院し、看取りについては老人保健施設・病院に移って頂くことを入居時に説明している。状態が変化するとその都度、主治医・本人・家族等で話し合っている。希望により1ヶ月位の経過後に退院し、事業所に戻る利用者もいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時の対応マニュアルを整備しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施しています。緊急時の連絡体制も整備されています。	年2回の内1回は消防署が立会い、夜間想定避難訓練を利用者と共に行っている。秋には消火設備会社のチェック及び訓練がある。法人内の病院・老人保健施設には緊急通報装置が連携しており、応援体制が出来ている。備蓄はしておらず、今後検討する予定である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	訴えがあった時は、居室や事務所等で会話するよう配慮しています。	利用者の好む食べ物を希望された時には皆と同じものではないので、自室で食べて頂いている。排尿の失敗時は、居室に置くポリバケツを利用し、他の人に分からぬように対応したり、事務室内で申し送りや記録を行い、羞恥心やプライバシーを損ねないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションを充分に取り、希望どうりの援助を心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	様々なレクリエーション活動を用意して、毎日の希望を伺っています。押し付けにならないよう利用者一人ひとりの希望に合わせた活動を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望時には、美容師さんが来ています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人が必要とされている事を実感して頂く為にも、出来る方には食事の下膳やテーブル拭きをして頂いております。	法人内病院の栄養士が10日間の献立を作り、食材業者から届いた食材を職員が調理している。週1回のパンの日ではあんぱんなどの希望のパンを献立に加えている。利用者はテーブル拭き、食器拭き等行う方もおり、誕生日にはちらし寿司・和菓子等が提供され行事食を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事を摂らない方には、本人の好む物、食べやすい形状ににして提供しています。水分不足にならないように定時の給茶、希望時の給茶の声掛けを行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後、声掛けによりうがいや歯磨きの介助をしています。また、義歯の方は夜間預かりポリドントでの洗浄をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は、観察をトイレに向かう際には声掛けにてトイレ誘導、介助 また排泄困難な方は、主治医と相談し薬等の処方をして頂いています。	殆どの利用者は排泄が自立しており、布や紙パンツに紙パット使用となっている。各居室にトイレがあり、夜間は時間で排泄誘導をしたり、歩行が不安定な方は転倒予防の為にベッド脇に敷いてあるセンサー付きマットを活用して職員が対応したり等の排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに取って頂いたりホール内の歩行、運動等を勧め職員と一緒にっております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の時間は、時間を決めさせて頂いております。順番は、日替わりで変えています。	週2回午後の時間帯に入浴を支援している。順番表があり、一人ずつの入浴であるが、仲良し2人での入浴もあり、職員は歌ったり話したりゆっくりとする時間を作っている。入浴を拒否する方には介助者を替えたり、声かけを工夫したりしている。機能が低下して一般浴が利用出来ない状況になると、法人内の老人保健施設や病院の機械浴で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝付けない利用者は、傾聴しお茶等を飲んで頂き会話等をしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての説明書きを薬局より作成してもらいケア記録にファイル いつでも見られる様にしています。希望時には家族にも説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯・植物のお世話・塗り絵・折り紙・散歩等、ご本人のやりたい事を見つけ出し支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	声掛け等により天気の良い日は、外気浴や散歩に出掛けています。	日常的には坂もある病院の周りの道を散歩したり、駐車場や庭先での外気浴に出かけたりしている。季節毎の外出行事を計画して、紫陽花園・バラ園・県庁・回転寿司等への外出支援を行っている。家族に呼びかけ参加される家族もあり、利用者と共に楽しい時間を過ごせるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状では、一緒に買い物に出掛けた際に支払いを依頼する程度です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	言語不明瞭な利用者については、職員が代わってご家族に電話をしたり希望者には手紙を出したりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要時カーテンで遮光しています。ホールには、季節のお花を飾って和やかな雰囲気作りを心掛けています。	ホール兼食堂は中央に台所があり、南に面するスペースは明るい光が差込み、ホールから台所で料理する職員が見られ、季節の花が飾られている。寒くなると窓側にソファを置き日向ぼこをする姿があり、北側は一段高い畳スペースに掘り炬燵を設置している。季節感や生活感があり、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール席は、話が合う方と話が出来るように席替えをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁には、レクで行った塗り絵や貼り絵が飾られています。また使い慣れたダンスやテレビを設置し楽しまれています。	家族に馴染みのものの持ち込みを伝え、居室にはダンス・テレビ・花等が置かれ、壁には家族の写真・カレンダー等が掛けられている。本好きな利用者の読書する姿があり、居心地よく過ごされるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	言語以外の声のトーンや表情に充分気を払い本人理解に努め、会議で良く話し合い自立出来るよう支援しています。		